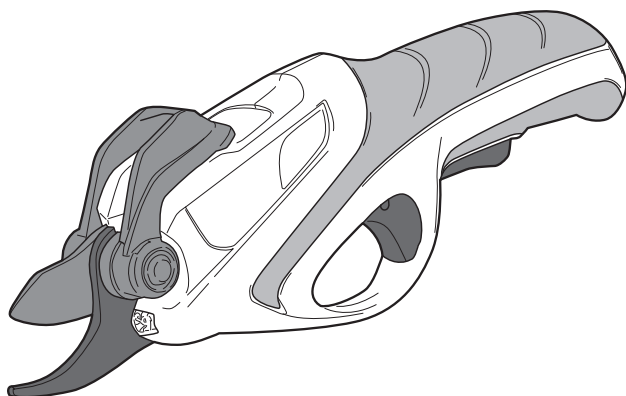


充電式剪定ばさみ BSH-120

取扱説明書

保証書付



Li-ion

リチウムイオン電池は
リサイクルへ

このたびは、本製品をお買い上げいただきありがとうございます。

安全に能率よくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書を最後までよくお読みいただき、使用上の注意事項、本機的能力、使用方法など十分ご理解のうえで、正しく安全にご使用くださるようお願いいたします。また、この取扱説明書は大切にお手元に保管してください。

もくじ

ページ

安全上のご注意	1
充電式剪定ばさみ	
ご使用に際して	8
騒音について	11
各部の名称	12
仕様	13
付属品	13
用途	14
別販売品	14
1 充電あたりの作業量（目安）	15
充電について	15
充電方法	
充電ランプの状態	
結束バンドの取外し	19
ブレードカバーの取外し	19
スイッチの扱い方	20
LED ライト	21
過負荷保護機能	22
温度保護機能	22
ブレードの取外し、取付け	23
剪定作業	25
枝の切り方	
剪定目安表	
ブレードについて	29
各部取付けネジの点検	29
使用後の手入れ	29
作業後の保管	30
修理について	30
故障かなと思ったら	31
保証書	34

安全上のご注意

主要機能・名称・用途

準備

使い方

保守と点検

安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。ご使用上の注意事項は「⚠ 危険」と「⚠ 警告」と「⚠ 注意」に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- 他の人に貸出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

■危険表示・警告表示・注意表示について

表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が大きい内容のご注意。



誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。



誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、「⚠ 注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

「⚠ 危険」・「⚠ 警告」・「⚠ 注意」以外に製品の据付け、操作、メンテナンスなどに関する重要な注意事項は「⚠」にて表示しています。安全上の注意事項と同様必ず守ってください。

■絵表示について

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。行為の内容によって、文字や図記号と組み合わせて表示しています。			
		禁止	分解禁止	水ぬれ禁止
	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。行為の内容によって、文字や図記号と組み合わせて表示しています。			
		必ず守る	よく読む	点検・確認
	この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。行為の内容によって、文字や図記号と組み合わせて表示しています。			
		感電注意		

⚠ 危険

電池・充電器に関する安全事項



禁止

専用の充電器を使用してください。

- ・他の充電器で本体に内蔵されている電池（以下、電池という）を充電しないでください。



禁止

本体や電池は、火への投入、加熱をしないでください。



禁止

本体や電池に釘を刺したり、衝撃を与えたり、上に物を置いたり、分解・改造をしないでください。



禁止

本体の端子間を短絡させないでください。

- ・金属と一緒に工具箱や釘袋などに保管しないでください。



禁止

本体や電池を火のそばや炎天下など高温の場所で充電・使用・保管しないでください。

- ・発熱、発火、破裂のおそれがあります。

⚠ 警告

電池・充電器に関する安全事項



必ず守る

正しく充電してください。

- ・この充電器は定格表示してある電源で使用してください。直流電源やエンジン発電機では使用しないでください。異常に発熱し、火災のおそれがあります。



禁止

- ・周囲の温度が0℃以下、または周囲の温度が40℃以上では電池を充電しないでください。破裂や火災のおそれがあります。

電源プラグ
を抜く

- ・電池は、換気の良い場所で充電してください。本体や充電器を充電中、布などで覆わないでください。破裂や火災のおそれがあります。

- ・使用しない場合は、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

感電や火災のおそれがあります。

安全上のご注意

⚠ 警 告



感電注意

感電に注意してください。

- ・ぬれた手で電源プラグに触れないでください。

電
池
・
充
電
器
に
関
す
る
安
全
事
項



水ぬれ禁止

作業場の周囲状況も考慮してください。

- ・充電工具、充電器は、雨中で使用したり、湿った、またはぬれた場所で使用しないでください。感電の原因になります。



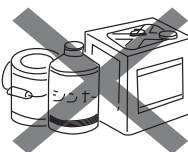
必ず守る

- ・作業場は十分に明るくしてください。暗い場所での作業は、けがのおそれがあります。



禁止

- ・可燃性の液体やガスのある所で使用したり、充電しないでください。爆発や火災のおそれがあります。



必ず守る

次の場合は、充電工具のスイッチを必ず切ってください。

- ・使用しない、または修理する場合。
- ・刃物などの付属品を交換する場合。
- ・その他危険が予想される場合。



必ず守る

不意な始動は避けてください。

- ・スイッチに指を掛けて運ばないでください。



禁止

指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

- ・この取扱説明書および当社総合カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものは使用しないでください。

警告

電池・充電器に関する安全事項



必ず守る

電池の液が目に入ったら直ちにきれいな水で十分に洗い、医師の治療を受けてください。

・失明のおそれがあります。



禁止

使用時間が極端に短くなった電池は使用しないでください。



禁止

ご使用済みの本体（電池）は一般家庭ゴミとして棄てないでください。

・棄てられた電池がゴミ収集車内などで破壊されてショートし、発火・発煙の原因になるおそれがあります。



必ず守る

電池が漏液したり、異臭がするときは直ちに火気より遠ざけてください。

・漏液した電解液に引火し、破裂、発火する原因になります。

注意

作業場の環境について



必ず守る

作業場は、いつもきれいに保ってください。

・ちらかった場所や作業台は、事故の原因になります。



禁止

子供を近づけないでください。

・作業者以外、充電工具や充電器のコードに触れさせないでください。

・作業者以外、作業場へ近づけないでください。

安全上のご注意

⚠ 注 意

電気に関する安全事項



禁止

充電器のコードを乱暴に扱わないでください。

- ・コードを持って充電器を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。
- ・コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
- ・コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないように充電する場所に注意してください。



必ず守る

屋外使用に合った延長コードを使用してください。

- ・屋外で充電する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

個人的な注意事項



必ず守る

無理して使用しないでください。

- ・安全に能率よく作業するために、充電工具の能力に合った速さで作業してください。
- ・モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。



必ず守る

油断しないで十分注意して作業を行なってください。

- ・充電工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周囲の状況など十分注意し、常識を働かせて慎重に作業してください。



禁止

- ・疲れている場合は、使用しないでください。



禁止

無理な姿勢で作業をしないでください。

- ・常に足元をしっかりとらせ、バランスを保つようにしてください。



禁止

きちんとした服装で作業してください。

- ・だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は着用しないでください。
- ・手袋と滑止めのついた履物の使用をお勧めします。
- ・長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。



必ず守る



必ず守る

飛散物が目に入るような作業をする場合は、めがねなど保護具を着用してください。

⚠ 注 意

個人的な注意事項



禁止

作業に合った充電工具を使用してください。

- ・ 小型の充電工具やアタッチメントは、大型の充電工具で行なう作業には使用しないでください。
- ・ 指定された用途以外に使用しないでください。



必ず守る

調節キーやレンチなどは、必ず取外してください。

- ・ スイッチを入れる前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が取外してあることを確認してください。

工具の使用と手入れ



点検・確認

損傷した部品がないか点検してください。

- ・ 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- ・ 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。



よく読む

- ・ 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。



禁止

- ・ 電源プラグやコードが損傷した充電器や、落としたり、何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。

- ・ スイッチで始動および停止操作の出来ない充電工具は、使用しないでください。



必ず守る

使用しない場合は、きちんと保管してください。

- ・ 乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所または鍵のかかる所に保管してください。
- ・ 充電工具や電池を、温度が 45℃ 以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。



禁止

充電工具は、注意深く手入れをしてください。

- ・ 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
- ・ 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- ・ 充電器のコードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。



必ず守る



よく読む

安全上のご注意

⚠ 注 意

工具の使用と手入れ



点検・確認

- ・ 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
- ・ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。

電池・充電器に関する安全事項



必ず守る

- 電池が漏液して液が皮膚や衣服に付着した場合には、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。
- ・ 皮膚がかぶれたりするおそれがあります。

修理とメンテナンス



分解禁止



必ず守る

充電工具の修理は、専門店に依頼してください。

- ・ サービスマン以外の人は充電工具、充電器、電池を分解したり、修理・改造は行なわないでください。
- ・ 充電工具が熱くなったり、異常に気付いた時は、点検・修理に出してください。
- ・ この製品は、該当する安全規格に適合していますので改造しないでください。
- ・ 修理は、必ずお買い上げの販売店にお申し付けください。修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

充電式剪定ばさみご使用に際して

- 先に充電工具として共通の危険・警告・注意事項を述べましたが、充電式剪定ばさみをご使用の際には、さらにつぎに述べる警告・注意事項を守ってください。

警 告



禁止

取扱説明書に記載されている用途、または能力以上の作業には、絶対に使用しないでください。

・発煙、発火、また思わぬ事故の原因になります。



必ず守る

作業する箇所に電線などが無いことを作業前に確認してください。

・電線などがあると、ブレード（刃）が触れ、感電のおそれがあり、事故の原因になります。



必ず守る

使用する前に、近くに人がいないことを必ず確認してください。また、使用中は人を近づけないでください。

・けがの原因になります。



必ず守る

使用中は、本体の先端部分やブレード（刃）に、手や顔を近づけないでください。

・けがの原因になります。



必ず守る

使用中は、枝を保持する手に注意して作業してください。

・誤って挟むと、切断などけがの原因になります。



必ず守る

使用中は本体を確実に保持してください。

・確実に保持していないと、けがの原因になります。



必ず守る

使用中、機械の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店に点検・修理を依頼してください。

・そのまま使用していると、けがの原因になります。

安全上のご注意

⚠ 警 告



点検・確認

誤って落したり、ぶつけたときは、本体やブレード（刃）に破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。

・破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。



禁止

電池は発煙、発火、破裂のおそれがあります。次のようなことはしないでください。

- ・本体の端子に金属類を接触させないでください。
- ・本体を釘や硬貨などが入った袋や箱の中に入れないでください。
- ・本体を雨や水にぬらさないでください。



水ぬれ禁止



禁止

ラッカー、ペイント、ベンジン、シンナー、ガソリン、可燃性ガス、接着剤などのある場所では充電しないでください。

・爆発や火災のおそれがあります。



禁止

火災のおそれがありますので、次のようなことはしないでください。

- ・段ボールなどの紙類、座布団などの布類、畳、カーペット、ビニールなどの上では充電しないでください。
- ・風窓のある充電器は、充電中に風窓をふさがないでください。また風窓に金属類、燃えやすい物をさし込まないでください。
- ・綿ぼこりなど、ほこりの多い場所で充電しないでください。



禁止

充電用端子部には、金属片、水などの異物を近づけないでください。



禁止

充電器は充電以外の用途に使用しないでください。

 警 告

禁止

スイッチ（トリガ）に指を掛けて運ばないでください。

・ 不意な始動による、けがの原因になります。



禁止

セフティロックトリガを押込んだ状態で固定しないでください。

・ セフティ機構が働かず、けがの原因になります。



必ず守る

枝や異物がブレード（刃）にかみ込んだときは、スイッチを切り、枝や異物からブレードを離してください。

・ 無理に切ろうとすると、本体に支障をきたすばかりでなく、発煙・発火や思わぬ事故の原因になります。



必ず守る

本体やブレード（刃）にヒビ、割れなどの異常がないことを確認してください。

・ けがの原因になります。



感電注意

雨の中での作業や雨上がり、水やり（散水）直後のぬれた枝の剪定はしないでください。

・ 感電のおそれがあり、事故の原因になります。



必ず守る

使用しないときや持運ぶときは、ブレード（刃）がむき出しにならないように付属のブレードカバーを取付けてください。

・ けがの原因になります。



分解禁止

絶対に分解したり修理・改造しないでください。

・ 発火したり、異常作動してけがの原因になります。

安全上のご注意

⚠ 注 意



必ず守る

ブレード（刃）や付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。

・ 確実にしないと、外れたり、けがの原因になります。



必ず守る

高所作業のときは、下に人がいないことをよく確認してください。

・ 本機などを落したとき、事故の原因になります。



必ず守る

ブレード（刃）の交換は、手袋・ウエスなどで手を保護してから行なってください。

・ 不用意に扱うと、けがの原因になります。



禁止

連続して使用したときは、本体が熱を持ち熱くなります。

特に先端の金属部は熱くなりますので不用意に触れないでください。

・ やけどの原因になります。



必ず守る

充電中、異常発熱などの異常に気がついたときは、直ちに電源プラグを抜いて充電を中止してください。

・ そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂のおそれがあります。



騒音について

ご使用に際し、周囲に迷惑をかけないように、各都道府県などの条例で定める騒音規制値以下でご使用になる必要があります。必要に応じてしゃ音壁を設けるなどしてください。

この取扱説明書は、大切に保管してください。



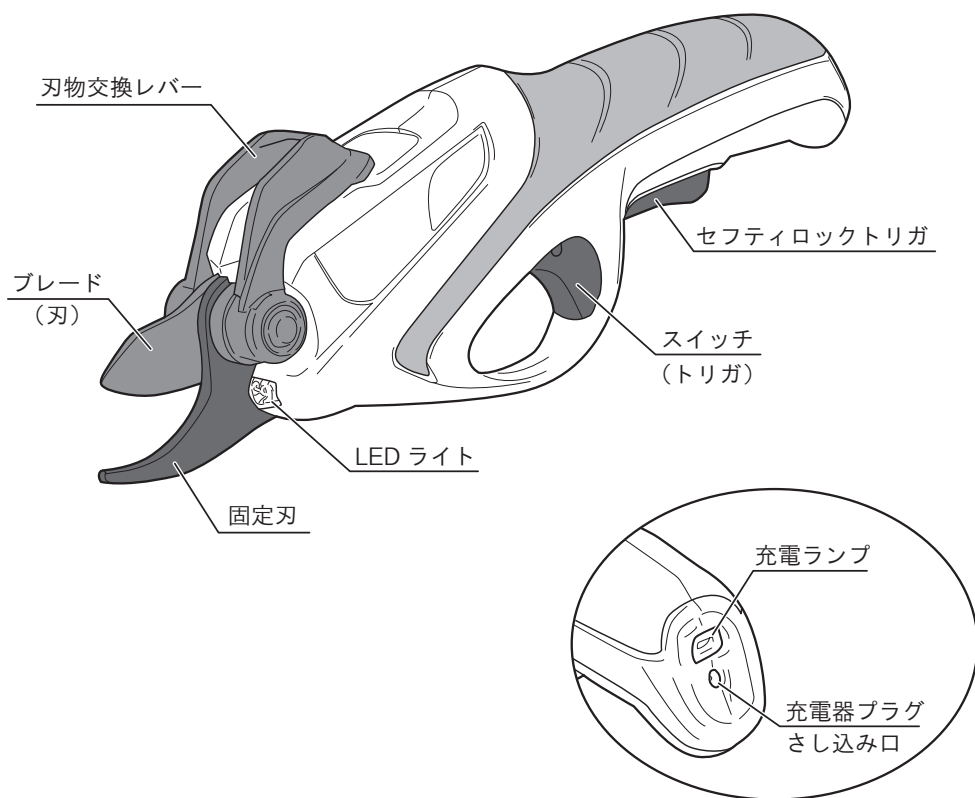
Li-ion

リチウムイオン電池の回収にご協力ください。

左のマークはリサイクルができるリチウムイオン電池を使用していることを表しています。希少資源のリサイクル活動と環境保護のため、使用済みのリチウムイオン電池の回収を行なっていますので、不要になった本体は分解しないで、お買い上げの販売店、または当社営業所へお持ちくださるようお願いいたします。

主要機能・名称

■各部の名称



安全上のご注意

主要機能・名称・用途

準備

使い方

保守と点検

仕様・付属品

■仕様

●本体

- ・ 電源 DC 3.6V
(リチウムイオン電池内蔵式)
- ・ 最大切断枝径 12mm ※1
- ・ 本体寸法 (長さ×幅×高さ) 300 × 52 × 98mm
- ・ 質量 (内蔵電池を含む) 0.6kg

※1 最大切断枝径は、樹木の種類やブレード(刃)の状態などにより変わる場合があります。

●電池 (内蔵式)

- ・ 電圧 DC 3.6V
- ・ 電池 リチウムイオン電池
- ・ 容量 1,300mAh

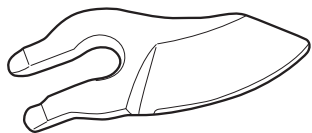
●充電器 (BC-364L)

- ・ 電源 AC 100V 50/60Hz
- ・ 定格出力電圧 DC 3.6V
- ・ 標準充電時間 約 60 分 ※2
- ・ 質量 0.1kg

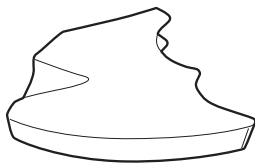
※2 充電時間は周囲の温度や電池の状態により変動します。

◆上記は当社の基準に基づいた値です。

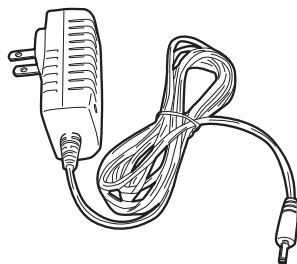
■付属品



ブレード (刃) 1
(本体取付)



ブレードカバー 1
(本体取付)



充電器 1
(BC-364L)

用途・別販売品

■用途

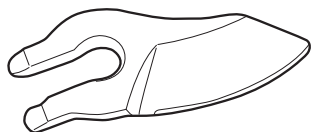
- ・庭木の枝の剪定， その他（樹脂パイプ*、ビニールホースの切断）

※ 樹脂パイプの切断は、径 12mm 程度まで可能です。板状のものには不向きです。
切断作業は保護めがねを着用してください。

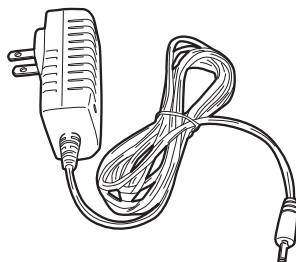


- ・ 金属， 食品などの切断には使用しないでください。

■別販売品



- ブレード（替刃）
- ・ 高級刃
 - ・ スタンダード刃



充電器（BC-364L）



- ・ 別販売品は純正品をお買い求めください。
別販売品の詳細につきましては、総合カタログでご確認のうえ、商品お買い上げの販売店またはパワーツール取扱店でお買い求めください。
- ・ 別販売品は予告なく変更することがあります。

<電子カタログ>

<https://www.kyocera-industrialtools.co.jp/support/catalog/>



準 備

■ 1 充電あたりの作業量（目安） （周囲温度 20℃）

約 350 カット（切断径 10mm の場合）

※ 上記を参考に作業してください。

電池容量および、作業環境、ブレード（刃）の切れ味、周囲温度などの条件により作業量は異なります。

■ 充電について

⚠ 危 険



禁止

専用の充電器を使用してください。

- ・ 指定以外の充電器で本体に内蔵されている電池（以下、電池という）を充電しないでください。破裂して傷害や損傷を及ぼすおそれがあります。

⚠ 警 告



必ず守る



禁止

正しく充電してください。

- ・ 充電器は定格表示してある電源で使用してください。直流電源やエンジン発電機では使用しないでください。異常に発熱し、火災のおそれがあります。
- ・ 周囲の温度が温度 0℃ 以下、または周囲の温度が 40℃ 以上では電池を充電しないでください。破裂や火災のおそれがあります。
- ・ 電池は換気の良い場所で充電してください。充電中、本体や充電器を布などで覆わないでください。破裂や火災のおそれがあります。
- ・ 使用しない場合は、充電器の電源プラグを抜いてください。感電や火災のおそれがあります。

警告



必ず守る

ラッカー、ペイント、ベンジン、シンナー、ガソリン、可燃性ガス、接着剤などのある場所での使用や充電はしないでください。

- ・爆発や火災のおそれがあります。



禁止

火災のおそれがありますので、次のようなことはしないで下さい。

- ・段ボールなどの紙類、座布団などの布類、畳、カーペット、ビニールなどの上では充電しないでください。
- ・風窓のある充電器は、充電中に風窓をふさがないでください。また風窓に金属類、燃えやすい物をさし込まないでください。
- ・綿ぼこりなど、ほこりの多い場所で充電しないでください。

注意



禁止

充電器のコードを乱暴に扱わないでください。

- ・コードを持って充電器を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。
- ・コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
- ・コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないように、充電する場所に注意してください。感電やショートして発火するおそれがあります。



必ず守る

屋外使用に合った延長コードを使用してください。

- ・屋外で充電する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

充電する際は、ブレードカバーを取付けてください。

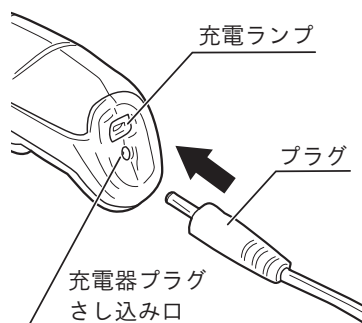
- ・不用意に扱うと、けがの原因になります。

準 備

※ 使用中（充電器を電源コンセントに接続していない状態でスイッチ（トリガ）を引いて作業しているとき）に充電ランプが赤点滅する場合は、電池残量がない状態ですので、充電が必要です。

●充電方法

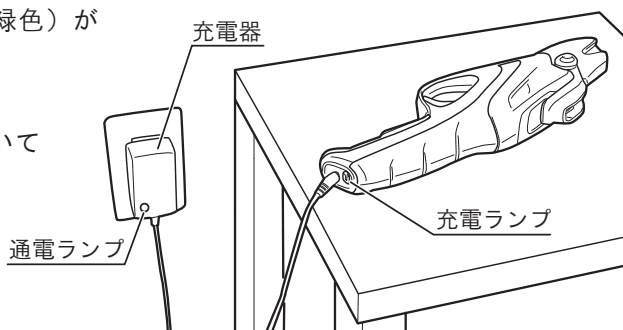
1. スイッチが『OFF』になっていることを確認してください。
（セフティロックトリガとスイッチ（トリガ）を引いていない状態）
2. 本体の充電器プラグさし込み口に充電器のプラグをさし込みます。
3. 充電器を電源コンセントにさし込むと充電ランプ（赤色）が点灯し、充電を開始します。



4. 充電が完了すると充電ランプ（緑色）が点灯します。
充電時間は約 60 分です。

5. 充電器を電源コンセントから抜いてください。

6. 充電器のプラグを本体より抜いてください。



※充電中は、充電器本体に多少の熱を持ちますが性能に影響ありません。

※セフティロックトリガ ON の状態では、充電できません。

※充電中は、スイッチ（トリガ）を引いても作動しません。

充電状態は、充電ランプで示しています。（18 ページ『●充電ランプの状態』参照）



充電器の通電ランプは、充電状態に関係なく、通電中は赤く点灯します。

●充電ランプの状態

充電ランプの状態		状態
スイッチ（トリガ）を引いているとき	点滅（赤色） ● ● ● ● ●	電池残量なし（充電が必要） ※充電器を電源コンセントに接続していない状態
充電中	点灯（赤色） 	充電している状態
充電完了	点灯（緑色） 	充電が完了した状態



必ず守る



禁止

- ・ 充電中は、本体が熱くなりますが、異常ではありません。
- ・ 電池保護のため、電池容量が少なくなると、充電ランプが赤点滅し、自動的に本体が停止します。停止したら、電池を充電してください。
- ・ 充電中、テレビ・ラジオなどに雑音が入ることがあります。この場合、充電器をテレビ・ラジオから離すか、別のコンセントを使用してください。
- ・ リチウムイオン電池は、電池の温度が5℃～40℃の間で充電できます。使用直後で、電池の温度が高い場合、電池の温度が下がるのを待って充電するため、標準充電時間より長くなることがあります。
- ・ 充電しないときは、充電器を電源コンセントから抜いてください。
- ・ 電池容量が少ない状態で放置しないでください。
- ・ 長期間（6ヶ月以上）ご使用にならない場合は、充電した状態（充電完了した状態）で保管してください。
- ・ 電池は約300回まで充電可能ですが、実際の寿命は使用条件により異なります。充電できなくなったときが、電池（本体）の寿命となります。

準 備

■結束バンドの取外し

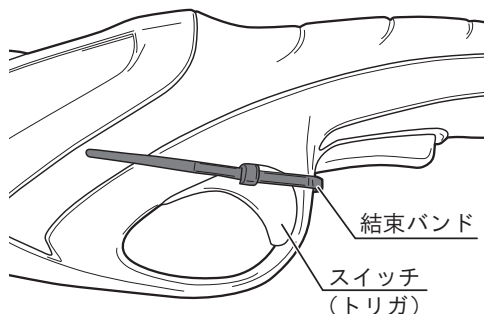
⚠ 注 意



必ず守る

- ・ 結束バンドを切断する際は、ハサミ等を使用し、けがのないように注意してください。
カッターナイフは使用しないでください。けがの原因になります。

- ・ 本機は、スイッチが入らないようにするため、結束バンドを取付けて梱包しています。ご使用の際は結束バンドを切断してください。



■ブレードカバーの取外し

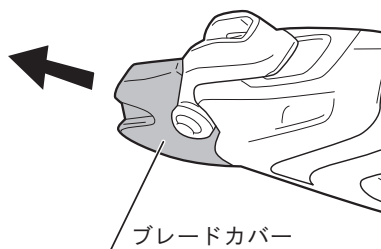
⚠ 警 告



必ず守る

- ・ 使用しないときや持運ぶときは、ブレードカバーを取付けてください。

- ・ ブレードカバーを取外します。



使い方

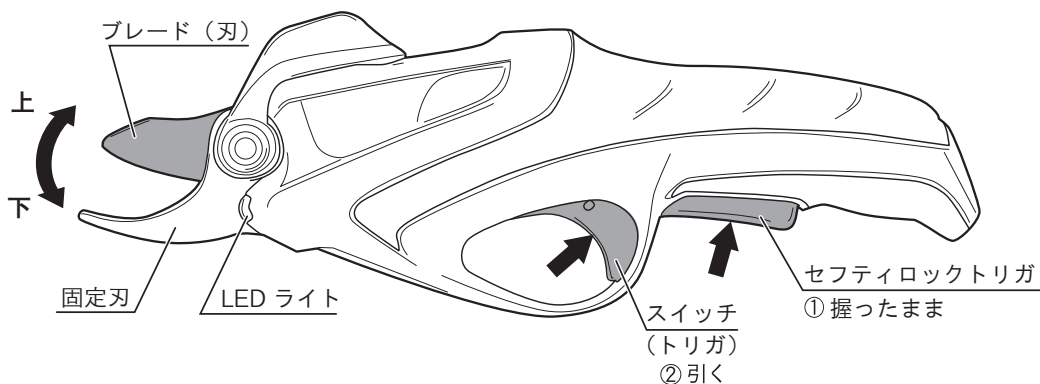
■スイッチの扱い方

⚠ 警告



禁止

- ・スイッチ（トリガ）に指を掛けて運ばないでください。不意な始動による、けがの原因になります。
- ・セフティロックトリガを押込んだ状態で固定しないでください。セフティ機構が働かず、けがの原因になります。
- ・スイッチを入れる前に近くに人がいないことを確認し、本体をしっかり持ってください。ブレード（刃）には手や顔などを近づけないでください。けがや事故の原因になります。



1. セフティロックトリガを握って、ロックを解除します。
（このとき、LED ライトが点灯します。）
 2. セフティロックトリガを握った状態で、スイッチ（トリガ）を引き続けます。
ブレード（刃）が下へ動き、切断を開始します。
 3. ブレード（刃）は、固定刃までくると、止まります。
 4. スイッチ（トリガ）から手を放すと、ブレード（刃）が上へ動き、もとの位置に戻ります。
- ※ 途中で停止したい場合は、スイッチ（トリガ）から手を放してください。ブレード（刃）が上へ動き、もとの位置に戻ります。

使い方

■ LED ライト

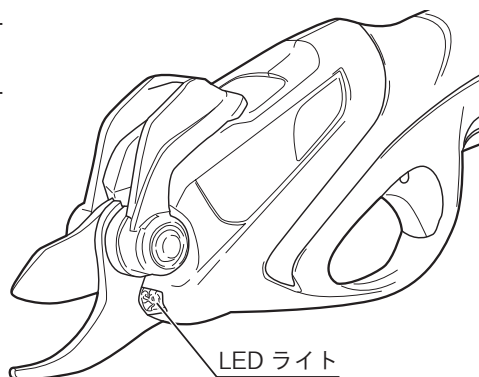
⚠ 注 意



禁止

- ・ LED ライトの光を直接のぞき込んだり、目に当てないでください。
LED ライトの光が連続して目に当たると、目を痛める原因になります。

- ・ 本機は、生い茂って陰になっている枝を照らす LED ライトが左右に付いています。
- ・ セフティロックトリガを握ると点灯し、放すと消えます。



必ず守る

- ・ ライトレンズ部に付着したゴミは、柔らかい布などでふき取り、キズが付かないように注意してください。ライトレンズ部にキズが付くと、明るさが低下する原因になります。
- ・ ライトレンズの清掃は、ガソリン、シンナーなどを使用しないでください。レンズを傷めます。

■過負荷保護機能

- ・本機には、ブレードに過剰な負荷がかかると、自動的に運転動作を停止する機能（過負荷保護機能）を搭載しています。

過負荷保護機能がはたらいた場合の現象と処置は以下の通りです。

現 象	処 置
スイッチ（トリガ）を引いた状態でも完全に切断出来ず、ブレードがもとの位置にもどる。 （枝径が大きい場合などに）	一度、スイッチ（トリガ）から手を放し、再度スイッチを入れてください。 （枝がかみ込んでいる場合は、枝を取り除いて、スイッチを入れてください。）
ブレードが枝にかみ込んだまま、途中で停止する。	一度、スイッチ（トリガ）から手を放してください。ブレードがもとの位置にもどります。 再度スイッチを入れてください。 （枝がかみ込んでいる場合は、枝を取り除いて、スイッチを入れてください。）

■温度保護機能

- ・連続・過負荷状態などの使用時に電池温度が高くなり、モーターが停止する場合があります。これは、温度保護機能によるものであり、故障ではありません。
本体（電池）を冷ましてください。

使い方

■ ブレードの取外し、取付け

⚠ 警 告

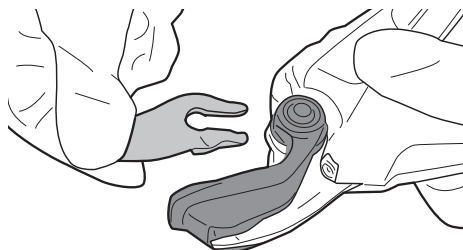
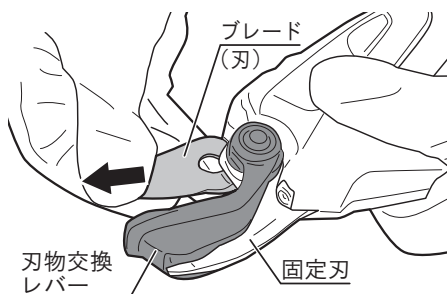
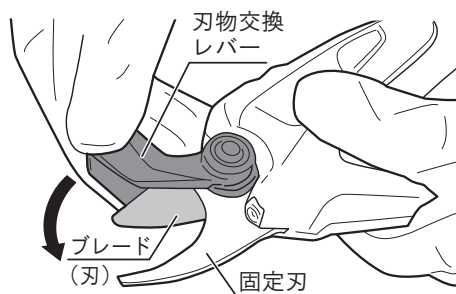
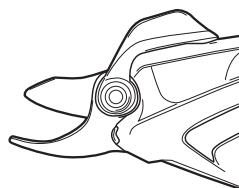


必ず守る

- ・セフティロックトリガおよびスイッチ（トリガ）に指を掛けないでください。不意な始動による、けがの原因になります。
- ・ブレードの取外し、取付けには、手袋・ウエスなどで手を保護してから行なってください。不用意に扱うと、けがの原因になります。

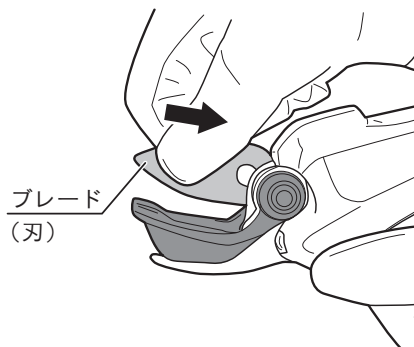
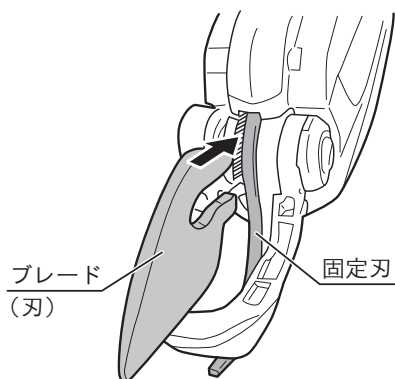
（取外し）

1. ブレード（刃）と固定刃が完全に開いた状態になっているか確認します。
2. 刃物交換レバーを矢印方向に止まるまで動かします。
3. ブレード（刃）を矢印方向に引き抜きます。

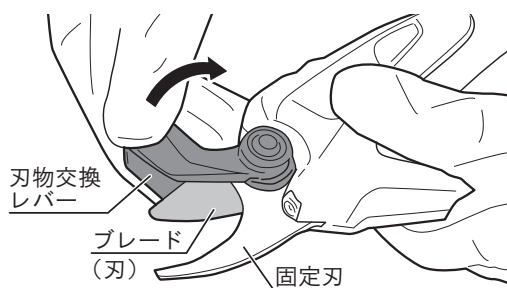


（取付け）

4. 新しいブレード（刃）を矢印方向に「カチッ」と音がするまで差し込みます。



5. 刃物交換レバーを元の位置へ戻します。



使い方

■剪定作業

警 告



禁止



必ず守る

- ・使用中は、本体の先端部分やブレード（刃）に、手や顔を近づけないでください。けがの原因になります。
- ・使用中は、枝を保持する手に注意して作業してください。誤って挟むと、切断などけがの原因になります。
- ・セフティロックトリガを押込んだ状態で固定しないでください。セフティ機構が働かず、けがの原因になります。
- ・作業する箇所に電線などが無いことを作業前に確認してください。電線などがあると、ブレード（刃）が触れ、感電のおそれがあり、事故の原因になります。
- ・枝や異物が挟まり、ブレードが止まった場合、必ずスイッチ（トリガ）およびセフティロックトリガから手を放して、ブレードが停止していることを確認してから異物を取り除いてください。
- ・雨の中での作業や雨上がり、水やり（散水）直後のぬれた枝の剪定はしないでください。感電のおそれがあり、事故の原因になります。

注 意



必ず守る

- ・作業前に切りやすい小枝などを切り、十分になれてから作業を行なってください。
- ・最大切断枝径以上の枝は切断しないでください。
- ・作業中は、けがの発生を防ぐため手袋を着用してください。
- ・モーターがロックする、または機械が停止するような負荷を本体に与えないでください。
- ・連続して使用したときは、本体が熱を持ち熱くなります。特に先端の金属部は熱くなりますので、不用意に触れないでください。
- ・切れ味が悪くなったブレード（刃）は、交換をおすすめします。切れないブレード（刃）での作業は、けがを負うおそれがあるとともに、電池の消耗を早めます。

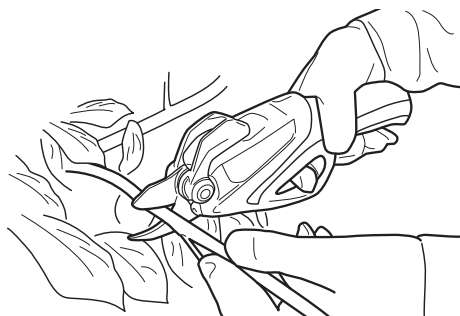


必ず守る

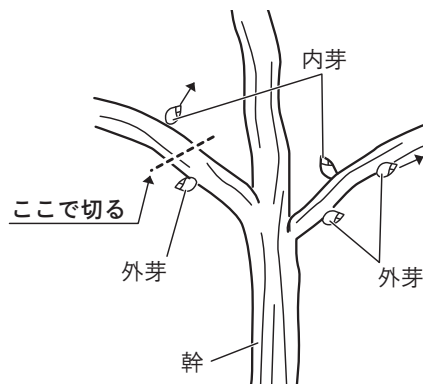
- ・ 片方の手で本体を持ち、もう片方の手で切断する枝を持ってください。その際、手と切断位置の間に視界を遮るものがないようにしてください。
- ・ 切断したい枝の位置をブレード（刃）で挟み、剪定を行なってください。
- ・ 枝の切断が終われば、スイッチ（トリガ）を放し、ブレード（刃）が元の位置に戻ったことを確認してから、次の剪定作業に移ってください。

●枝の切り方

- ・ 枝は1本ずつ挟んで剪定します。

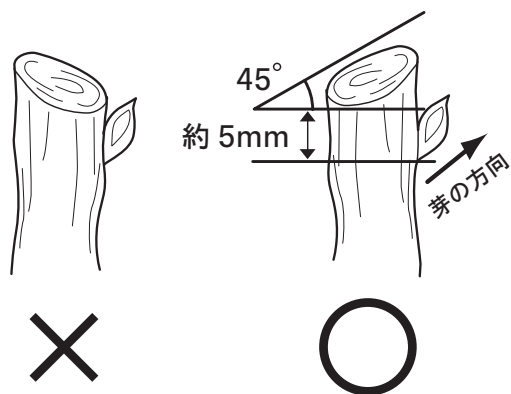


- ・ 外芽（先端が幹と逆の方向に向いている芽）を残すように剪定します。

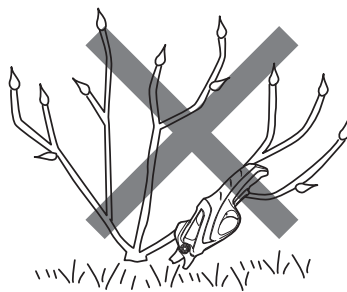


使い方

- ・ 芽から約 5mm の位置を目安に、芽と同じ方向に 45° の角度で剪定します。



- ・ 幹の根元や地下茎から生えた枝を切るために、ブレード（刃）を地面に突き刺さないでください。



●剪定目安表

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
ナンテン												
アジサイ												
コデマリ												
ウメ												
ツバキ												
カナメモチ												
マツ												
カイズカイブキ												
ベニカナメモチ												
ウバメガシ												
キンモクセイ												

※ この表は一般的な剪定時期です。天候や地域により剪定時期は異なります。

保守と点検

警告



必ず守る

- ・保守、点検、部品交換などのお手入れの前には、必ずスイッチを切ってください。不意な始動によるけがの原因になります。



分解禁止

- ・絶対に分解したり修理・改造しないでください。発火したり、異常作動してけがの原因になります。

■ブレードについて

- ・ブレードは常に切れ味の良いものを使用してください。切れないブレードを使用すると作業の効率が悪いばかりでなく、モーターが過負荷状態になり、故障の原因になります。

■各部取付けネジの点検

- ・ネジなどのゆるみがないか、確認してください。もし、ゆるみがある場合は締直してください。

■使用後の手入れ

- ・本体は、乾いた布・せっけん水をつけた布などでふきとり、汚れを落としてください。
- ・ガソリン、シンナー、石油などでの清掃は本体をいためます。また、本体の水洗いは絶対にしないでください。

■作業後の保管

- ・ ブレードカバーを取付け、高温にならない乾燥した場所に保管してください。
お子さまの手の届く範囲や落下のおそれのあるところはさけてください。
- ・ 本体（電池）を長期間保管する場合は下記のことにご注意してください。
 - a. リチウムイオン電池は、充電状態で保管すること。
 - b. 6ヶ月に一度は充電すること。
 - c. 高温は避けること。特に 45℃以上の場所での長期保管はしないこと。
 - d. - 20℃以下で保管しないこと。
 - e. 熱源の近くや直射日光の当たる場所で保管しないこと。
 - f. 結露するような温度変化が大きい場所に保管しないこと。
 - g. 湿度が高い場所に保管しないこと。
 - h. 水を付着させないこと。
 - i. 低湿度の乾燥した場所で保管すること。
 - j. 運搬・移動時において、落下、大きな振動を与えないこと。
 - k. 短絡を防ぐため金属物に接触させないこと。
 - l. 保管する際は、必ず充電器から取外して保管すること。

■修理について

- ・ 本機は厳密な管理の下で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合には、お買い上げの販売店にご用命ください。
その他、部品ご入用の場合、あるいは取扱い上ご不明な点、ご質問などご遠慮なくお問い合わせください。

故障かなと思ったら

故障かなと思われましたら、次のチェックリストにそって点検を行なってください。

	症状	原因	処置
充電について	充電ランプが点灯しない。	電源プラグが電源コンセントから抜けていませんか。	電源プラグを電源コンセントにさし込んでください。
		本体の充電器プラグさし込み口に充電器のプラグがさし込まれていますか。	本体の充電器プラグさし込み口にしっかりさし込んでください。
		本体の充電器プラグさし込み口に異物が入り、接触不良を起こしていませんか。	本体の充電器プラグさし込み口から異物を取除いてください。
	充電してもフル充電しない、またはフル充電しても使用時間が短い。	電池（本体）の寿命です。	お買い上げの販売店にご相談ください。
本体について	スイッチ（トリガ）を引いても作動しない。	電池の残量がありますか。	電池を充電してください。
	動かない。	過剰な負荷がかかっていますか。（過負荷保護機能が作動していませんか。）	必ずスイッチ（トリガ）から手を放してください。ブレード（刃）がもとの位置に戻ります。再度始動してください。
		連続作業で本体が熱くなっていますか。（温度保護機能が作動していませんか。）	本体（電池）を冷ましてください。しばらく待って、再度始動してください。
	剪定がきれいにできない。	ブレード（刃）の切れ味が悪くなっていますか。	切れ味が悪くなったブレード（刃）は、交換をおすすめします。
		ブレード（刃）が古くなっていますか。	新しいブレード（刃）に交換してください。
		能力以上の枝径を切ろうとしていますか。	最大切断枝径は 12mm 以下にしてください。

※これらの点検を行っても正常に作動しない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

NOTE

安全上のご注意

主要機能・名称・用途

準
備

使
い
方

保
守
と
点
検

NOTE

保証書

このたびは、本製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。本書はお買い上げ日から下記保証期間中に故障が発生した場合に、本書記載内容で無料修理を行なうことをお約束するものです。詳細は下記をご参照ください。

モデル名		BSH-120	製造番号（本体の銘板をご確認ください）	
お客様	お名前			
	ご住所 〒			
			電話 ()	
お買い上げ日			保証期間（お買い上げ日より）	
年 月 日			1 年	
販売店	取扱販売店名・住所・電話番号			

●この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

無料修理規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
(a) 無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店に商品と本保証書をご持参ご提示いただき、お申し付けください。
- ご転居、贈答品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼にならない場合には、京セラインダストリアルツールズ販売営業所にお問い合わせください。
- 保証期間内でも次の場合は有料にさせていただきます。
(a) 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障または損傷
純正品以外の補修部品や先端工具を使用したことによる故障または損傷
(b) 保管や手入れの不備による故障や損傷
(c) リースやレンタルなど使用者や使用状況が不明な場合
(d) 水の浸入による故障または損傷
(e) お買い上げ後の落下、輸送等による故障または損傷
(f) 業務用およびそれに準ずる使用をされて生じた故障または損傷
(g) 天災、異常電圧などによる故障または損傷
(h) 使用損耗および経時変化による外観の劣化（刃物の切れ味低下、褪色、発錆、打痕、擦過キズなど）
(i) 本書のご提示がない場合
(j) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合
(k) モデル名、お買い上げ年月日、販売店名を証する物（レシートなど）の添付がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
(l) 譲渡、転売、中古、オークション、質屋、リサイクルショップで取得された場合
(m) 付属品（電池パック、充電器、キャリングケース含む）、別販売品、消耗品の場合
(n) 商品の機能に影響しない音、振動、オイルのにじみなどの感覚的現象
(o) 商品分解状態でのお持ち込み
- 修理品運搬などの付随的費用および商品を使用できなかったことによる損失（休業経費、代替資材費、役務経費等）の責任は負いかねます。
- 修理等で取り外した不具合部品は、当社所有といたします。
- 本書は日本国内においてご購入、ご使用の場合のみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保存してください。

お客様の個人情報、上記の目的以外には、一切使用いたしません。
This warranty is valid only for Japan.

■修理メモ



京セラインダストリアルツールズ販売株式会社

〒468-8512

愛知県名古屋市中天白区久方1-145-1

TEL 052 - 806 - 5111

レシート貼付

インターネット店でご購入された場合は、領収書を印刷して貼付ください。

回収のために下記のリョービ電動サンダを探しています

対象商品	外観色調	生産時期	製造番号
MS-350	ダークグリーン	1999年～2001年	44001～52000
		2001年～2002年	90001～103000
		2006年～2007年	178001～185000
S-801	ダークブルー	2001年	12001～15730
S-801S	ダークブルー	2000年～2001年	6001～7828
S-801M	グリーン	2004年～2005年	7001～9000

詳細は右のQRコードまたはURLからご参照ください。



<https://www.kyocera-industrialtools.co.jp/notices/2012/07/000371.html>

サービスネットワーク（営業所）

当社サービスネットワークは、右のQRコード
またはURLからご確認ください。



<https://www.kyocera-industrialtools.co.jp/support/network/>

商品のお問い合わせ窓口

ナビダイヤル **0570-666-787**

受付時間：月曜日から金曜日（国民の祝日、当社指定休日を除く）
9時から12時まで、12時50分から17時30分まで

部品ご入用、故障の場合、その他取扱い上ご不明な点があった場合には、
ご遠慮なくお買い上げの販売店にお問い合わせください。

※改良のためお断りなく仕様、外観などを変更することがあります。

発売元

京セラインダストリアルツールズ販売株式会社

本 社

〒468-8512 名古屋市天白区久方1-145-1

TEL 052-806-5111 FAX 052-806-5141

<http://www.kyocera-industrialtools.co.jp>

